平成22年度事務事業評価シート

平成 22 年　6 月　25 日　作成

事務事業No./名称	■サービス部門 □支援部門　都整-29　運営事業（下水道特会）		
主管課	都市整備総務課	関連課	部内下水道関連各課
分野名	下水道・河川		
目標（目標値）			

ザイムスコード及び個別事業名	
530	経理庶務事務
530	保険料等
530	報酬または賃金など
530	事務郵便料

人口等のデータ	データ区分	21年度	20年度	備考
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日（住民基本台帳）
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯	

運営資源状況				
	決算値	47,744千円	41,718千円	
	（国・県）			
	（負担金等）			
	（一般財源）	47,744千円	41,718千円	
	人員配置数	1.0人	1.0人	
	人件費	9,291千円	9,367千円	
	協働のパートナー			

事務事業運営経費				
	総事業費	57,035千円	51,085千円	
	市民1人当りの経費	323円	289円	
	対象者1人当りの経費			

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）						
	団体名					

指標と評価	
指標	
評価	

◎目標を達成　○目標に向かって前進　△横ばい　×後退

	目標値	実績値
20年度		
21年度		
22年度		
23年度		
最終年度（　年度）		

創意・工夫・課題等改善状況

課題・問題点

（21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか）

・下水道事業特別会計の庶務及び経理事務の適正かつ円滑な執行に努める。
・下水道事業の経営計画の策定等課題が山積する状況である。

創意・工夫・課題等の改善点21年度の成果

（課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか）

・事務処理方法の適正かつ合理的な運用を行うため、経理事務や契約事務の執行にあたり、法令を遵守した、部内統一的な処理の徹底を図った。

未解決の課題・問題点

（21年度事務事業の取組において対応（解決）できなかったものはどのようなことですか）

・創意工夫を重ね、効率的な事業運営に努めるも、下水道事業の経営計画の策定等課題が山積する状況に加え、使用料の見直しなど、新たなの懸案への対応を迫られ、依然、困難を極める状況である。

今後の方針（対応・改善）

（上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応（改善）していきますか）

・部内各課の相互協力体制を構築し、課題・問題点の解決に向け、適正かつ合理的な業務運営に努める。

一次評価（課長評価）

A:充実又は拡大　B:現状のまま継続　C:統合又は縮小　D:廃止又は休止　E:事業完了

評価結果	改善の必要性	
B	有	・部内の庶務及び経理事務を統括する業務であることから、基本的な方向性に変更はない。今後、情報の共有化や執行状況の把握に努め、業務の適正かつ効率的な運営を図る。
課長名		都市整備総務課長　磯崎　勇次

二次評価（部長評価）

評価結果	改善の必要性	
B	有	・基本的な方向性は維持し、更に適正かつ効率的な事業運営に取り組む。
部名・部長名		都市整備部　山内　廣行